

普及活動情勢報告（令和7年7月分）

高吾農業改良普及所

日高オクラ生産部会目慣らし会 ～さらなる収量向上に向けて～	
	<p>6月26日、JA高知県日高支所トマト選果場で、日高オクラ生産部会目慣らし会が開催され、生産者8名が参加しました。</p> <p>普及所からは、梅雨時期の栽培管理や高温対策について情報提供を行いました。生産者からは、「開花位置や葉色を見ながら追肥を行ってみる」、「高温対策で通路かん水を行ってみる」といった声が聞かれました。</p> <p>普及所は、今後も定期的な巡回を通して、病虫害防除や栽培管理について情報提供を行い、オクラ生産者の収量向上を支援していきます。</p>
目慣らし会の様子	

ニラ腐敗対策会議 ～高温期の栽培管理や病虫害に注意しましょう～	
	<p>7月4日、JA高知県斗賀野支所でニラ腐敗対策会議が開催され、ニラ生産者10人が参加しました。</p> <p>普及所は、高温期におけるニラの栽培管理や出荷調整の注意点、発生しやすい病虫害と対策に加え、労働力確保対策として外国人技能実習生や農福連携の概要について説明しました。</p> <p>生産者からは技能実習生の受入にかかる補助の有無やJAが取り組んでいる労働力確保対策などについて質問がありました。</p> <p>普及所は、今後も関係機関と連携しながら、時期ごとの栽培管理指導や有用な情報の収集、提供を行っていきます。</p>
説明をする職員	

新規就農者・就農状況報告会 ～さらなる目標に向けて～	
	<p>6月と7月に普及所は関係機関とともに管内の新規就農者7名の就農状況に関する個別面談を行いました。</p> <p>1月から6月の作業日誌や作業時間の確認、出荷実績及び決算書データをもとに計画に対する実績や課題、問題点などを整理、確認しました。</p> <p>トマト農家からは「前作の課題であった、かん水管理に注視し、環境データと併せた管理をしたことで目標とする反収が確保できた」、イチゴ農家からは「育苗期の高温対策として新素材遮光ネットを取り入れたことで、定植後の生育が安定した」など農家自ら、課題に対する取り組み結果について発言する場面が多く、積極的な意見が聞かれました。</p> <p>普及所はR8園芸年度に向けて、就農後の栽培技術の早期習得及び経営安定につながるよう指導を続けていきます。</p>
係機関と面談の様子	